

部本部人材支援部長 兼 中小企業大学校瀬戸校長に聞く外国人材活用による経営力の強化

Realization of a sustainable society

共生社会の実現」に向けた経営戦略

# 活用による経営力の強化

—経営力強化のための  
具体的な研修内容とねらい  
単純にその制度の紹介

—外国人材を経営戦略に  
どう結びつけていくか。  
昨年は成長戦略の一環  
とした「改正出入国管理法」  
が施行され、新たに就業  
可能な在留資格「特定技  
能」が創設されたことによ  
り、企業にとって「外国人  
材の活用」という選択肢が  
大きく広がった年となり  
ました。  
中小企業基盤整備機構  
中部本部は、これを単なる  
労働力不足の解消という  
ことだけではなく、生産性  
向上や経営力強化に結び  
つける大きなチャンスと  
捉え、企業の経営戦略にど  
う結びつけていくかを研  
究のテーマに定めた「経営  
者・経営幹部のための外国  
人材活用講座」を去る12月  
3日に開催いたしました  
ところ予想を上回る方々  
のご参加を頂きました。そ  
の関心の高さに、外国人材  
の活用は時代のニーズで  
あると、感じていましたので  
同じ研修を7月16日に開  
催いたします。

—外国人材を経営戦略に  
どう結びつけていくか。  
昨年は成長戦略の一環  
とした「改正出入国管理法」  
が施行され、新たに就業  
可能な在留資格「特定技  
能」が創設されたことによ  
り、企業にとって「外国人  
材の活用」という選択肢が  
大きく広がった年となり  
ました。

講師は、外国人材の採用  
の支援に実績のある行政

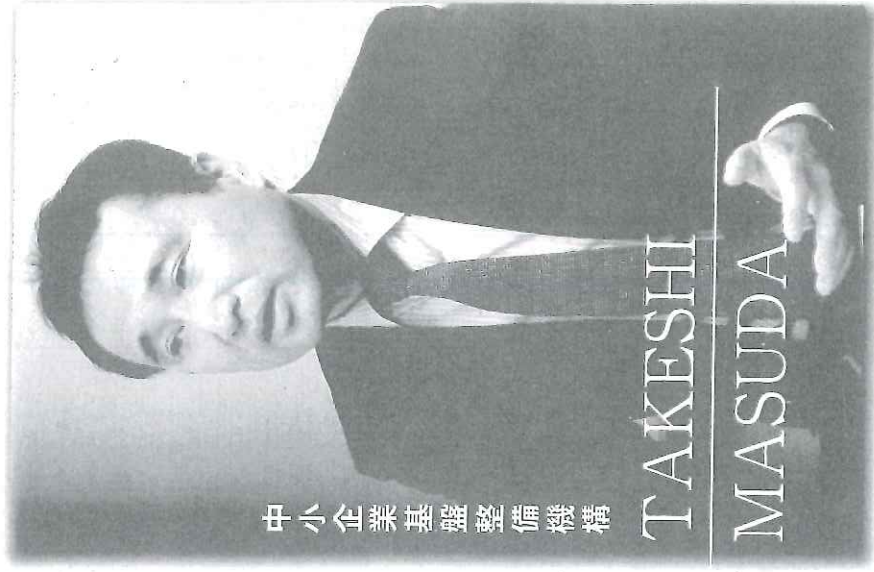
—外国人材の  
「定着化」への支援は  
外国人材は、社内での指  
示・確認・報告、コミュニ  
ケーションに悩みを抱え  
ることがありますが、日本  
業慣習やビジネスマナー  
の支援に実績のある行政

や留意点、ルールをご説明  
するのではなく会社の置  
かれている様々な課題の  
対応策として、いかに外国  
人材を活用していくか、と  
いうところまで広げてい  
けるような研修を企画し  
ています。  
例えば技・人・国(技術・  
人文知識・国際業務)とい  
われる専門的な能力を有  
した外国人材を将来的な  
海外戦略としての販路開  
拓や拠点設立などに活用  
するなど、労働力不足対応  
だけではなく「外国人材」  
を自社の経営戦略にどう  
位置付けていくかをテー  
マとしています。また、約  
3時間を費やし自社の人  
材活用計画も含む今後の  
事業を整理して頂き、「特  
定技能」「定住者」「技能  
実習生」や「高度人材」な  
ど、自社でどのような資格  
の人材をどのようなスケ  
ジュールで採用し、受け入  
れ、育成し、定着させてい  
くかを具体的にシートに  
記載し、課題の整理とその  
対応策までを作成して頂  
きます。

—外国人材を経営戦略に  
どう結びつけていくか。  
昨年は成長戦略の一環  
とした「改正出入国管理法」  
が施行され、新たに就業  
可能な在留資格「特定技  
能」が創設されたことによ  
り、企業にとって「外国人  
材の活用」という選択肢が  
大きく広がった年となり  
ました。

書士にご登壇頂き、実際に  
このシートの完成までの  
フォローをして頂きます。  
そして、特定社会保険労務  
士が定着と育成の講義を  
行うほか、「外国人材」を  
活用した海外展開支援の  
専門家を加えた3名の講  
師が、具体的行動計画等、  
策定までフォローしてい  
きます。  
外国人材を単なる労働  
力ではなく企業戦略の中  
でどう位置付けていくの  
か、また「技能実習生」を  
受け入れている企業でも、  
新たに「特定技能」という  
制度を活用したらどう変  
わるのかを制度的に把握  
することが必要です。例え  
ば「技能実習生」は転職を  
想定していませんが、「特  
定技能」では転職も可能で  
るので、「一層「定着化」が  
重要になってきます。

書士にご登壇頂き、実際に  
このシートの完成までの  
フォローをして頂きます。  
そして、特定社会保険労務  
士が定着と育成の講義を  
行うほか、「外国人材」を  
活用した海外展開支援の  
専門家を加えた3名の講  
師が、具体的行動計画等、  
策定までフォローしてい  
きます。  
外国人材を単なる労働  
力ではなく企業戦略の中  
でどう位置付けていくの  
か、また「技能実習生」を  
受け入れている企業でも、  
新たに「特定技能」という  
制度を活用したらどう変  
わるのかを制度的に把握  
することが必要です。例え  
ば「技能実習生」は転職を  
想定していませんが、「特  
定技能」では転職も可能で  
るので、「一層「定着化」が  
重要になってきます。



中小企業基盤整備機構

TAKESHI  
MASUDA

中部本部人材支援部長兼  
中小企業大学校瀬戸校長

増田 武史 氏



名古屋ダイヤビルディングにて開催

に不慣れなことに起因す  
ることが多いです。  
このような声を受け、2月  
12日、13日の2日間で、外  
国人材向け「外国人材のビ  
ジネススキル強化講座」を  
名古屋で開催いたします  
ので、ぜひご活用くださ  
い。日本企業で働くため  
のスキルを習得し、能力を  
十分に発揮し、生き活きと活  
躍していただけることを  
ねらいとしています。同じ  
研修は4月15日、16日にも  
開催いたします。  
—地方ならではの共生  
社会実現と専門家の育成  
特に地方都市において



株式会社 伊藤紙器  
代表取締役社長

伊藤 純也 氏

## 外国人材活用レポート

### 外国人材の持つ熱量を、職場の活性化につなげ、 人材育成力を強化させる。

私たち株式会社伊藤紙器  
は、紙パッケージの専門  
メーカーとして昭和24年  
に創業いたしました。現在  
はさまざまな形状の製品に  
対してオーダーメイドでダ  
ンボールを加工し、お客様  
に最適な内部パッケージを  
デザインさせて頂く紙器タ  
ンボール製造を行っていま  
す。弊社第三工場の建設準  
備もはじまっており、これ  
まで行ってきた食品包装業  
務にもより力を入れ、サブ  
リメントをはじめとした衛  
生包装などにも分野を広げ  
て行きたいと考えておりま  
すが、更なる安定的生産体

制の継続と拡張を考え、  
2005年より「技能実習  
生」次いで「高度人材」の受  
け入れを行ってまいりまし  
た。  
中小機構中部本部とは、  
2年前に「新興市場／顧客  
開拓戦略の策定と実行プロ  
セス管理体制の構築」を  
テーマとした専門家継続派  
遣事業への取り組み以来ご  
支援いただいております。  
この支援を通じて、市場や  
顧客分析等を行うとともに  
営業計画の策定を行い、  
マーケティングについての  
理解と興味を深めることが  
できました。今後も外国人

材をはじめとする様々な  
テーマのセミナーに参加さ  
せて頂くと考えておりま  
す。  
現在、1名の「高度人材」  
と7名の「技能実習生」を受  
け入れておりますが、外国  
人材の魅力は、技術を習得  
して母国で活躍したいとい  
う熱量が日本人従業員に伝  
わり、人材育成力を高め、そ  
の指導者と彼ら両面の技  
術、知識の向上に発展して  
いくことです。その熱心な  
姿勢から多くのことを学  
び、僅か数年の期間で職場  
での意識は大きく様変わり  
しました。  
私個人の立場としまして  
も、岐阜県職業能力開発協  
会より工業包装作業及び紙  
器ダンボール製造作業の技  
能検定員としての委嘱を受  
けておりますので、岐阜県  
内で都度行われる検定試験  
を担当する技能検定員とし  
ての視点でも、今後本制度  
の素晴らしさを広くお伝え  
していこうと考えておりま  
す。